

小山 吉朗（おやま・きちろう）

1、プロフィール

川柳作家。昭和4年より川柳入門。川柳岩木吟社創立同人、後代表となる。主に北津軽郡の川柳発展に尽力した。

<生没>

1909(明治 42)年 12 月 14 日～1987(昭和 62)年3月 30 日

<代表作>

川柳句集「こぬか雨」1988 年刊行

<青森との関わり>

五所川原市に生まれる。同地方を中心に長く教職に勤務、後五所川原市教育長を務める。

2、作家解説

明治 42 年五所川原市に誕生。本名吉之助。昭和4年青森県師範学校卒。卒業後五所川原尋常高等小学校勤務。昭和 13 年朝鮮忠清南道鳥致院砧山小学校勤務。昭和 20 年敗戦とともに帰国、その後北津軽郡の小中学校長を歴任。昭和 46 年より昭和 54 年まで五所川原市教育長を務める。

昭和4年同僚の宮本夢一文に誘われて川柳入門。昭和8年「五所川原川柳会」の創立メンバーとなる。昭和 12 年五能線沿線各社(板柳・鶴田・五所川原)の柳人により「川柳岩木吟社」創立、その創立メンバーとなる。同吟社は戦中戦後の混乱で休眠状態となったが昭和 38 年復活、吟社代表となる。川柳岩木吟社代表として北津軽郡の川柳発展に尽力し多くの柳人を育成した。また青森県川柳社の重鎮として活躍。昭和 62 年3月 30 日死去、享年 79 歳。昭和 55 年五所川原市文化褒賞受賞。没後勲四等瑞宝章受章。平成元年 10 月五所川原市菊ヶ丘公園内に「花好きの妻が苦にせぬこぬか雨」の句碑が建立された。

3、資料紹介

○『こぬか雨』小山吉朗遺句集

図書

1988(昭和 63)年 10 月 1 日

188 mm × 135 mm

川柳句集。著者の遺句集であり、著者唯一の句集である。著者の作品を年代順に編集、実直な作品が並ぶ。小山吉朗遺句集刊行委員会が編集、発行。発行所川柳岩木吟社。248 頁。